（別添資料１）

事業所名　児童発達支援・放課後等デイサービスひまわり

支援プログラム（放課後等デイサービス）

作成日　令和7　年　3　月　13　日

法人（事業所）理念		私たちはすべての子どもたちが、将来社会の一員として幸せに暮らせることを目指し、「子ども時代を充実させる」を念頭に遊びを通じてその土台作りの一助となる。			
支援方針		さまざまな経験を重ね「やったことがある」を増やしていくことで、将来必要な力が習得できるよう支援を行う。 遊びや、創作的な活動では「子どもらしさ」を尊重し、　社会のルールを伝える際は、子ども扱いせず一人の人間として対応し、「楽しむこと」と「責任を持つこと」の両方が学べるよう状況に応じた支援を提供する。 子どもが個々のペースで学び、感性や創造力を養う機会を増やすこと、自立心を養い問題解決能力の向上を図る。			
営業時間		9 時 0 分から 18 時 0 分まで		送迎実施の有無	あり
		支　援　内　容			
本人支援	健康・生活	日々の療育の中で、心と身体の健康を維持・増進に努めます。 児童の健康状態の常なるチェックを行い、「靴をそろえる」「検温する」「手を洗う」「荷物を片付ける」「排泄をする」「楽しんで食事をする」などの基本的な生活スキルの向上を目指します。子どもが自立して日常生活や社会生活を営んでいけるよう、施設外での社会体験活動も取り入れ、それぞれの子どもに適した身体的、精神的、社会的訓練を行います。			
	運動・感覚	保有する視覚、感覚、嗅覚、固有覚、前庭覚等の感覚を十分に活用できる遊び等を活動プログラムへ取り込み、楽しみながら感覚の活用を促します。			
	認知・行動	制作等の活動の中で視覚・聴覚・触覚などから必要な情報を収集し、感覚の活用や認知機能の発達を促していきます。自己コントロールのトレーニングやルールを守る訓練を行います。			
	言語 コミュニケーション	会話をする楽しみを感じ、場面に応じた言葉・対応等ついて学びコミュニケーション能力の向上へと繋げます。個々の発達に応じて指先や身振り、文字等を用いて環境の理解と意思の伝達ができるように支援します。			
	人間関係 社会性	集団活動の中でルールを理解し、社会性を身につけていけるよう支援します。集団活動の中で共に活動することを通じて、相互理解やお互いの存在を認められるようになることや、自分の行動の特徴を理解しつつ、自己肯定感を高められる機会等も設けていきます。長期休暇時は、世代交流も行います。			
家族支援		必要に応じて面談を行います。家族の子育てに関する困り等の聞き取りを行いながら、子どもの発達ニーズについての気づき等の助言を行っていきます。子どもの特性に応じた関わりの提案等を行います。		移行支援	個々に合わせたペースで、ライフステージの切り替えを見据えることができるよう本人・保護者と相談しながら移行へ向けた準備のお手伝いを行います。移行先への情報共有や会議に積極的に参加します。
地域支援・地域連携		公共施設や、公共機関を利用した課外活動を取り入れ地域の人との交流の場を設けます。		職員の質の向上	発達の特性等についての研修・虐待防止研修・感染対策研修・防災訓練等
主な行事等		避難訓練（６月、１２月）、親子お花見BBQ、季節の行事（ひな祭り、夏祭り、ハロウィン、クリスマス会、餅つき、初詣　等）、お別れ会 土曜日や長期休暇時は、外出活動を積極的に行っています。			